

## 協会 創立60周年記念式典挙行

講演は「花街・芸者」テーマに 踊りも披露

## 平成30年新年賀詞交歓会を併催



㊤挨拶する横山会長 ㊦中部経済産業局長賞表彰を受ける後藤鉦一郎氏(左)と宇佐美教之氏

協会創立60周年記念式典及び平成30年新年賀詞交歓会が1月17日午後3時より、名古屋国際ホテルで行われた。協会は昨年創立60周年を迎え、記念事業としてゴルフ大会、ボウリング大会、『IPF Japan 2017』への出展などを実施し、当日の記念式典を迎えた。

式典の開会に当たり児玉副会長が「永年に亘りプラスチック業に携わり、この日を迎えられ

たことに万感の思いである」と開会の辞を述べ、物故者に対し黙祷を行ったあと、横山会長があいさつに立った。

横山会長は「当会は昭和32年、中部プラスチック成形工業会として設立。順調に組織を拡大し、ものづくりの一役を担い、業界の発展に多くの先人方が貢献されたことに感謝を申し上げたい。今業界では、アンケート調査によると『人材育成』が重要なテーマとなっている。IoT、AIなどの導入が進み、企業体質強化が求められている。今後生き残っていくのは、強いものではなく環境に適応していくものである。協会が会員各社の発展の一助となれるように、60周年を契機に次の節目に向け新たな一歩を踏み出したい」と述べた。

来賓紹介のあと別掲の功労者表彰が行われ、来賓の祝辞では中部経済産業局長富吉賢一氏から「被表彰者みなさんの尽力に敬意を表したい。貴協会は高度成長と共に日本の歩みを支え、今でも自動車産業はじめ中心的なものづくり産業を支えている。今後も中部経済産業局が力を入れている次世代自動車産業をはじめとする多くの分野にわたって、日本の経済の力強いけん引役としてご尽力いただきたい」との言葉をいただいた。

第2部講演会は、講師に伝統芸術文化研究所主宰市川明彦氏を迎え、演題「花街・芸者のビジネスモデルと上手な遊び方」を聴講。講師は、日



講師の市川明彦氏

立製作所にエンジニアとして勤務していたが、生まれ育った花街の環境が覚醒(?)し、現在の道を進み始めた。講演では、「花街」とは? 「芸者」とは? から始まり、聴講者が『芸者を呼ぶ宴会の幹事』になったのを想定し、費用を含めよりいい条件で、より楽しく遊ぶには? をポイントに話が進められた。因みに最も好まれる芸者さんは『座持ちの良い芸者さん』で、いかに選ぶかと言った話しなども披露された。

講演に引き続き披露されたのが、安城芸姑文化振興会による踊り、三味線、鳴物で、ステージ上の芸者さんらに惹かれた。観客席には「初めて見た」という人も結構いたようで、最後の曲は「ドンパン節」で締めくくられた。

賀詞交歓会は、中村総務委員長の司会で進行され、協会大松副会長開会の辞、横山会長の主催者あいさつの後、来賓の大村秀章愛知県知事の祝辞では、「中部エリアの景気は好調で、投資意欲は旺盛である」と、トヨタ自動車のテストコースプロジェクトを紹介。また「県内企業団地も活発化しており、仕事は拡大していく傾

向にある。更なる隆盛を期待したい」と締めくくられた。

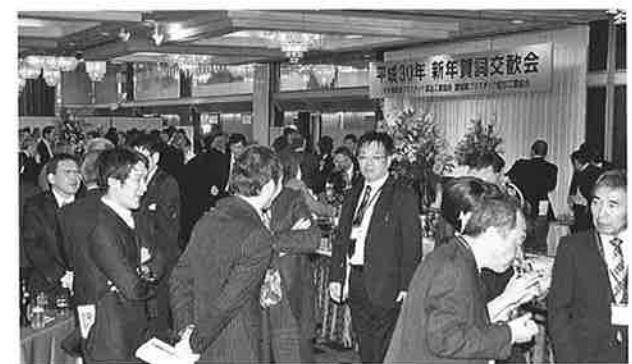


安城芸姑文化振興会の皆さん

また、富吉賢一中部経済産業局局長からは「生産性革命で生産効率を上げていくために、今積極的な投資が必要である。将来に向けて若い人に事業継承を勧めたい。そしてその支援強化を図りたい」。市民経済局杉山和人名古屋市市民経済局産業部産業労働課課長からは「プラスチック業界の絶え間ない発展へのチャレンジを、色々な角度からサポートしていきたい」などの祝辞をいただいた。

祝電が披露された後は、全日本プラスチック製品工業連合会鈴木啓之会長の発声で乾杯し、懇親が深まる中『福引き』で盛り上がり、最後は組合原田理事長の中締めでお開きとなった。

祝電が披露された後は、全日本プラスチック製品工業連合会鈴木啓之会長の発声で乾杯し、懇親が深まる中『福引き』で盛り上がり、最後は組合原田理事長の中締めでお開きとなった。



新年賀詞交歓会

## 創立60周年記念 功労表彰者

▽中部経済産業局長賞 = 後藤鉦一郎 (タイセイプラス)、宇佐美教之 (ウサミ化成)

▽愛知県知事賞 = 磯野正幸 (星和化成)、伊勢村昌吾 (千代田合成)、塩谷國明 (スター精機)

▽連合会会長賞 = 後藤敏公 (みづほ合成工業所)、小川憲兒 (東海化学工業)

▽会長感謝状 = <歴代会長> 服部和彦 (和泉化成)、後藤壽夫 (元ゴトープラスチック)、後藤鉦一郎 (タイセイプラス)

<訓練校講師> 石川君雄、福田博行

(敬称略)



三井住友信託銀行

名古屋営業部 TEL.052-242-7311

〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号 栄カスビル

## 積極果敢に決断し成長を

全日本プラスチック製品工業連合会

平成30年新年賀詞交歓会



IoTの推進についての勉強会

1月26日午後5時より、第一ホテル東京において、全日本プラスチック製品工業連合会平成30年新年賀詞交歓会が、経済産業省をはじめ業界関係団体、報道関係そして各地区協会会員など総勢71名の参加を得て盛大に開催され、当協会からは6名が参加した。

最初に鈴木会長（中部日本）から「昨年は明るい話題も暗いニュースも数多くありました。一方、米国のトランプ大統領、仏国のマクロン大統領、韓国の文在寅大統領など新リーダーが誕生しました。我が業界では、下請法の遵守が強化され、現金支払いへと改善が進みました。また、『ミドルウェア』の普及活動も本格化してきました。

今年の干支は戌年で『勢いを保つためには思い切った決断が必要』と言われます。積極果敢に決断し、成長する一年になることを期待しています」との新年の挨拶があった。

続いて、来賓を代表して経済産業省製造産業局素材産業課長湯本啓市氏より「平成30年度に事業承継税制の抜本的拡充として贈与・相続税の猶予割合の拡大を図る。また、コネクテッドインダストリーズを提唱し第4次産業革命からSociety5.0につなげる」との方針が述べられた。



湯本啓市課長



鈴木連合会長

その後、祝宴に移り大野副会長（東日本）の乾杯により、和気藹々と話が弾んだ祝宴も、原副会長（西日本）の中締めで閉会となった。

なお、新年賀詞交歓会に先立ち、理事会、またプラスチック業界におけるIoTの推進について、ムラテック情報システムによる勉強会も実施された。



新年賀詞交歓会



**第一実業株式会社**  
DAICHI JITSUGYO CO., LTD.

本社 〒101-8222 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地  
（御茶ノ水ソラシティ） TEL03-6370-8600（代）  
大阪支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3丁目6番32号  
（ダイビル本館） TEL06-4967-3000  
名古屋支社 〒460-003 愛知県名古屋市中区錦2丁目3番4号  
（名古屋フロントタワー） TEL052-201-5471  
URL: <http://www.djk.co.jp>

**未来素材をオーダーメイド**  
エンプラのトータルサプライヤーKASAGI



**笠置産業株式会社**

本社: 名古屋市東区泉一丁目17番24号 〒461-0001  
TEL(052)962-9500 FAX(052)972-7986  
営業所: 浜松・豊川・諏訪 工場: 豊川

## 厚生労働大臣表彰

### 技能検定関係功労者

盛田秀一氏（金城 化工）、榊原 晃氏（日進 工業）



盛田秀一氏

11月15日東京の明治記念館「富士の間」において職業能力開発関係厚生労働大臣表彰式が開催され、技能検定関係功労者として金城化工代表取締役社長盛田秀一氏と日進工業製造Gリーダー榊原晃氏の両名が厚生労働大臣表彰を受賞した。



榊原 晃氏

盛田氏は、平成11年から技能検定委員として現在まで19年間、技能検定試験の推進に

尽力すると共に、愛知県プラスチック成形工業組合技能検定委員会委員も平成20年から務め、その功績が認められての受賞となった。

榊原氏も平成11年から現在まで19年間技能検定委員として技能検定実技試験の推進に努めた実績をもっての受賞となった。

## 愛知県優秀技能者表彰

### 鈴木則和氏（豊和 化成）ら受賞

11月20日愛知県庁に於いて愛知県優秀技能者表彰式が行われ、当組合推薦の正会員豊和化成開発部次長の鈴木則和氏が表彰された。（プラスチック製品製造部門）

鈴木氏は、入社以来一貫してプラスチック成形に従事し、低コストのきしみ音対策の考案、高剛性塗装レスブレード材料によるコストの低



愛知県優秀技能者表彰式

減など多くの生産技術の改善を行い、生産性の向上・大幅なコスト削減に寄与している。平成26年には技能検定特級に合格、平成25年から技能検定委員も務めている。

また、検定委員の神谷浩孝氏も正会員東海理化の推薦で受賞している。

## 第67回愛知県職能開発促進大会

11月17日刈谷市総合文化センターにおいて第67回愛知県職業能力開発促進大会が開催され、技能検定・職業訓練校関係者が表彰を受けた。

この大会は、職業能力開発及び技能の重要性についての社会的認識を高めることを目的に、昭和26年から毎年開催されている。

技能検定委員の杉山浩茂氏（ゴトープラスチック）と大森晃氏（松栄工業所）の2名に技能検定委員永年勤続者として愛知県職業能力開発協会から感謝状が贈られた。

また、職業訓練校から永年優良職業訓練講師として今西秀明氏、訓練修了後5ヵ年優良勤続者として、大森達雄氏、松井弘毅氏（以上、西浦化学）、坂下雄亮氏（松田電機工業所）、浦田将照氏（山勝工業）、杉浦徹氏、藤田隼弥氏（以上、山宗）の6名が愛知県職業能力開発協会会長表彰を受賞した。



東京 2020 ゴールドパートナー(生命保険)

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

**STAR**  
Quality First  
株式会社スター精機  
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133  
TEL 0587(95)7557 FAX 0587(96)1291

浜松営業所 TEL 053(432)6131 富山営業所 TEL 076(492)3260  
静岡出張所 TEL 054(288)2241

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587(95)7551(代)  
出張工場 /〒699-0631 鳥取県出雲市斐川町直江3538 TEL0853(72)4311

<http://www.starseiki.com>

## スケッチ

### 「空中成形など独自技術駆使」

ハジメ産業株式会社

代表取締役 日比野 潤



本 社

ハジメ産業(株) (本社=愛知県一宮市丹陽町九日市場字上田26-4) は、1979年11月に会社を設立した。2004年に現本社である一宮市に工場を移転して、プラスチック射出成形・加工・組立・金型の設計・製作を行っている。

海外には、中国上海、メキシコに拠点を構え、顧客のニーズに対応すべく取り組んでいる。

特色として、スーパーエンプラ樹脂であるPPSを年間で約700t使用しており、空中成形と言った特殊技術の金型を製作して、他社にはできない製品を提供している。

同社の経営理念は、『従業員の普遍的な教育』『顧客主義の徹底』である。主な製品は住宅設備向けの製品で、水回り製品(バルブ、継手)、水栓メッキ製品。自動車分野では目に付かない製品ではあるが、機能部品及びモーター用部品を製作している。また、一般家電向けに内部部

品や外装部品を幅広く提供している。

品質規格ではISO9001や、環境でISO14001を取得し、名古屋市工業グランプリをはじめ、愛知ブランド企業認定の他、顧客からの表彰も数多く受賞しており、一層の発展を目指すべく社員一丸となって、日々挑戦をしている。

#### 【生産設備】

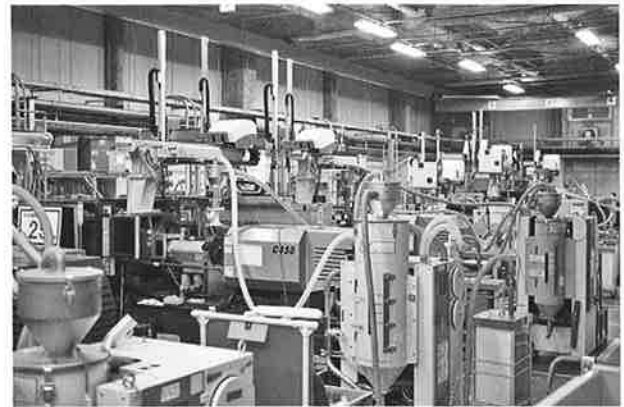
射出成形機：横型成形機15t～550t 51台  
                  縦型成形機50t～70t 10台

超音波溶着機 10台

三次元測定器 2台

Moldflow

ANSYS



㊤工場内の設備 ㊦生産ライン

技術とハートがスパークする

ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型

 株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田183番地

TEL052-621-5238 FAX052-621-3501

プラスチック表面処理の  
一貫生産が可能!

金型製作から成形、めっき、ASSYまでお任せください!

成形・めっき・蒸着・塗装・組立等  
プラスチック表面処理の一貫生産メーカー



東洋理工株式会社

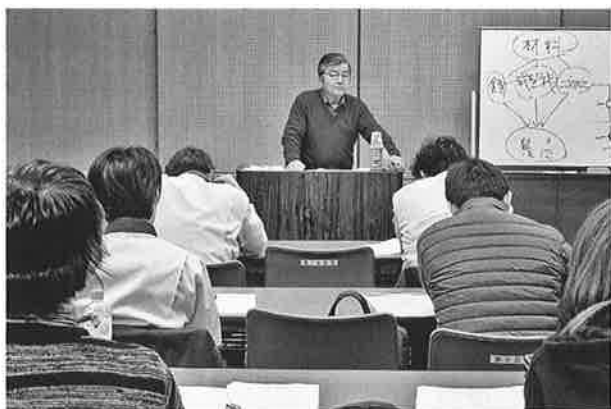
〒444-1193 愛知県安城市藤井町南山178番地  
TEL: 0566-99-0851(代表) FAX: 0566-99-1355  
URL: <http://www.toyoriko.co.jp/>

## 平成29年度後期技能検定

### 3級実技・学科講習会実施

プラスチック成形・射出成形3級実技試験は、12月14・19・21・26日の4日間名古屋市南区の検定会場で実技試験を実施した。今年の実技受検者数は、41名で昨年より7名増であった。試験に先立ち12月1・8・12日の3日間予備講習会を実施、26名が受講、その甲斐あって概ね良好な成績で終了した。

また、学科講習会は、1月10日名古屋市工業研究所で開催され、20名が受講した。本試験は2月4日に実施された。合格発表は3月16日である。なお、ブロー成形作業は今年度は公示されなかった。



模擬試験問題の解説

### 30年度前期技能検定に向けて

2月13日から3月9日までの16日間検定会場において射出成形技術特別講習会を実施している。実技試験の合格率アップに向け今年で4回目となる。特に本試験で難題とされる1級のPC→PEのページ及びPCの成形、2級のABS→PEのページ及び成形を中心に、少ない受講者でより技術を習得し易いカリキュラムになっている。今年は89名の申し込みであった。

また、1・2級の実技試験受検者向けに、例年開催している機械操作技術講習会を3月中旬より5月中旬まで実施であり現在、受講者の募集を行っている。

(問合わせ先：事務局 052-654-8155)

## 食品容器のキャップ製造

### 三笠産業本社工場など見学

#### 『訓練校指導員研修』報告

師走の4日、5日の2日間で、指導員研修旅行を行いました。

訪問先：奈良県広陵町の『三笠産業本社工場』及び『大和地域の世界遺産：法隆寺の伽藍、東大寺大仏殿、長谷寺の舞台造り本堂』の見学。

参加者：6名

#### 『三笠産業工場』見学に先立ち、まず世界遺産『法隆寺の各伽藍』の見学

参加者全員が2～30年振りの法隆寺見学をするということで、若き日の事を思い浮かべ順路に従い仏像、建物、調度品等を時間の許す限り見学しました。見学を終えて得たことは、仏に対する神聖さ、それに付随する調度品(壁画、装飾品)の製作にあたり、時の政権の威信をかけた『国の統一、繁栄、永続』を祈願する一大事業だったことを再確認出来ました。

#### 現代のものづくり現場 『三笠産業本社工場』見学

ものづくり企業として100年、製造している製品は創業時から受け継がれる『酒、たまりの呑み口』、『注ぎ口』容器です。その容器は、樽からガラス容器更にプラスチック容器、紙容器と変化するなかで、訪問企業が得意とする『調味料』の樹脂製キャップに特化し、永続的に製造しています。企業理念『創意工夫』・『無から有を生み出す』・『現状否定』を掲げ、生産活動する企業です。工場内はクリーンルームで、我々は防塵服、防塵靴、防塵帽子に着替え案内されました。

**PLASTICS WORLD**  
**YAMASO**  
**山宗株式会社**

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825  
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138  
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京  
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜・京滋

## 『製造するもの食品容器のキャップ』

安全・衛生・環境を最重要視する姿勢が入室前の手洗い、健康チェックシート、防塵シャワー、コロコロでの拭き取り等にも表れており、納入先企業の信頼を得て製造活動をしている事を体感しました。製造現場は大型射出成形機でPE、PP材を主とし、32個、48個取り、1サイクル18秒程度、3枚金型、ランナー付き、ランナーレスで製造し、検査は光センサー、カメラ検査での工程です。・・・可動型の無理抜き、固定型の磨き精度、金型冷却温度等、短時間ながら訓練校で教え込む教材になりました。生産活動に必要な管理資料については、成形条件表、工程内検査表が掲示されていたので確認も出来ました。

更に、ブロー成形の工程も見学することが出来ました。プリフォーム成形機は停止していましたが次工程は可動中で、高速、検査、梱包の自動化ラインを観ることが出来ました。

この見学で得たことは、自分が過去従事した自動車プラスチック部品と違い、大量に消費されるモノに対していかに安全性を保ち、客先からの安心感を獲得するか、決められた工程を忠実に守る、それだけではいけない、知恵と工夫がなければ生き残れないと、創業時からの精神が根強く継続されていることに感服しました。近年タイにも生産拠点を立ち上げ、世界ニーズに応える企業として精力的に活動をされていることも記しておきます。

## 2日目は歴史のものづくりと建造物の東大寺大仏及び大仏殿見学

今の大仏は江戸時代の再建、聖武天皇の創建時に比較すると小ぶり、一時は野ざらしの大



東大寺大仏殿前



三笠産業本社工場にて

仏が鎮座・・・鎌倉大仏と同じ江戸時代に世が安定化し大仏殿が再建され・・・創建時より間口小さく・・・大仏は高さ15m、大仏殿は世界最大の木造建造物です。他国では、震災が起きると歴史的建造物の崩壊の報を良く聞きますが先の阪神淡路大震災、東日本大震災では大きな損害なく、遺産として今日あります。・・・日本人の知恵、工夫、技能、技術の継承は誇りに思えることです。

## 長谷寺登廊・本堂と十一面観音

登廊・・・石畳み階段と屋根付き廊下石畳みの組み方、傾斜に応じた柱と桁、格子等匠の技を観ながら400段の階段を昇る本堂・・・山の傾斜部に創建されているので、本堂は檜皮葺き、前は舞台・・・京都清水寺と同じ山肌傾斜に巧みに柱を立て、桁組合せ重厚な本堂 観音さま・・・楠の木1本彫り、10mの観音さま、創建から600年経過しても、金箔が光輝くお姿に世の救いを感じられます。

最後に、どの時代にも『知恵・努力・創意工夫・永続・継承』があり、日本人の持つ心の支えとして生きていく上で誇りに思える旅でした。

(レポート：浅井 照光)



# NEX-IV

小さな機械。大きな金型。

—— 新型 電気式高性能射出成形機 ——

- 東海営業所 / TEL(0568)75-9555(代) 〒485-0039 愛知県小牧市外堀2-167
- 岡崎出張所 / TEL(0564)52-1430
- 三重出張所 / TEL(059)272-4065
- 静岡出張所 / TEL(054)685-8441
- 浜松出張所 / TEL(053)423-0205

**NISSEI** 射出成形機・金型・成形実験システム  
**日精樹脂工業株式会社**  
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■ 本社・工場 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

## 職業訓練校見学レポート

- ① 12月1日「機械工学概論」の授業で、安城市の東洋理工(株)を見学した。
- ② 12月8日「プラスチック概論」の授業で刈谷市の「あいち産業科学技術総合センター」を訪れた。実際に試験片を作成し、引っ張り試験、曲げ試験、衝撃試験などを行った。
- ③ 1月26日「社会」の授業で、「トヨタ産業技術記念館」を見学した。  
提出されたレポートの一部を紹介する。

## 東洋理工見学レポート

### ■(株)タイセイプラス：Y.N

東洋理工に見学に行かせて頂きました。プラスチックのめっきを加工するところを初めて見ました。普段めっき加工をされているものを見ることも、めっき加工作業を見ることもないのでとても新鮮でした。

一見パッと見ただけでは分からないくらいのはんの小さな傷でも不良になってしまい、NGというとても繊細な作業だということを知りました。今まで、小さな傷くらいならめっきで隠れてしまうのではないのかなと思っていたのですが、それは全くの逆で、めっきをかけると傷や手垢などが更に目立ってしまうと聞いてとても驚きました。素手で作業するとめっきが剥がれたり、手垢がついてしまうという理由から手袋を着用していて、それも3時間おきくらいに取り替えるということで、どれだけめっき加工が難しく気を遣う作業かということが理解出来ました。

部品を並べる作業ひとつにも並べた人と外す人がともに並べた時と変わらないか、しっかりと確認が出来るようにしているなど、細かなところにも気を配っていて、自分の普段の作業はしっかり気を配れているのかを見直すとても良い機会になりました。小さなことでも、次にまた作業の方やお客様がおられるということを実感させられ、いろいろと同社で学ばせて頂い



東洋理工の担当者から説明を聞く訓練生

たことを忘れずに自分の仕事に務めたいと思います。

### ■(株)西浦化学：T.N

今回、訓練校の見学では東洋理工を見学させて頂きました。同社では、昭和39年に日本初のプラスチックメッキ専門メーカーとして設立し、今では開発設計、金型治具、成形、メッキ、塗装までを一貫し、様々な生産工程を行われているとのことでした。その中でもメッキ加工は同社で開発した高耐食性メッキLOTHICSを導入したABS系のプラスチック専用ラインやナイロン、エンブラへのメッキをワンラック工程という新しい技術を開発採用したMulti Plating Lineを保有しており、日本でこの機械を取り扱っている会社は同社だけと聞いて驚きました。これらに使用される部品も数多く、車の外装品は勿論、水回り機器にも使われており、その種類も豊富でPPメッキ、PA-6メッキ、3価クロムメッキ、パールシルバーメッキ、アルミ蒸着、金属音プラメッキなど色々なメッキ加工を行っていました。

私は普段仕事をしている中で、メッキ加工する前の製品もABS樹脂で成形していますが、

日本初のプラスチック射出成形機を開発

# 起源は、名機。

株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2番地  
TEL 0562-47-2391(代) FAX 0562-47-2395 8AH型(1942年)  
<http://www.meiki-ss.co.jp>



他の製品に比べ非常に繊細で意匠面には手を触れないでと教えられました。私自身は、唯々触れなければいいのだと思いながら仕事をしているだけでなぜなのだろうと疑問はありましたが、今回の見学で少しの手あかが付着した製品にメッキ加工をすると、付着した部分は目立って製品に影響を及ぼすことがわかり、目には見えなくてもメッキ加工することで不良につながるのだと思いました。それからメッキ加工=ABS樹脂という風に捉えていた部分も、PP、PA、PCなどの樹脂でもメッキ製品を生産しているのだと初めて知ることができ、非常に勉強になりました。

今回見学させて頂いたことで自分のスキルアップにもなり、メッキ加工の種類や工程も知ることができました。これからの業務においても学んだことを生かし、ものづくりに励んでいこうと思います。

.....

■(株)鈴木化学工業所：M.K

東洋理工株式会社へ見学に行きました。同社はメッキ加工のプラスチック成形を得意とする会社です。

同社では、メッキ加工を得意としているので、成形品は素手では触らず、手袋を必ず装着して検査を行います。弊社でも、射出成形が終わった後や検査を行うときに、成形品に汚れが付着したりしないように、素手では触らず、手袋を装着します。どちらも同じ作業ですが、同社は、手の油でメッキが剥がれたり、成形品に汚れが付着したままメッキ加工を施すことがないように、多くて一日3回は手袋を交換します。弊社では、一日に1回交換することはなく、もちろん3回も交換を行うことはないのですが、メッキ加工の大変さと、成形品をすごく大切に扱う姿が、とても印象深く残りました。

同社は、前述したように、メッキ加工を得意とする会社です。弊社にはない成形品で“プラスチックだけれど金属のような音がする”というコンセプトの“MLT 金属音メッキ”が面白いと思いました。金属音メッキとは、本物志

向の材料で、耐ヒートサイクル性は130～200℃の性能があり、耐クリープ性、耐薬品(耐油性)、成形品寸法精度についても従来のプラスチックメッキよりも優れた性能を発揮するそうです。また、叩くと金属のような音がします。実際に展示されており、他の訓練生が試しに叩いてみたところ、本物の金属音よりも、少し低いのかなという感じがしました。現代では、自動車は燃費や環境負荷について、すごく大切に考えられており、自動車の軽量化が全体的に進んでいるので、金属プラメッキは、本物の金属ではなくプラスチックの金属であるので、軽量化には大成功であり、今後も需要があるのではないかと思います。

今回、弊社とも関係のある同社へ見学に行きましたが、同じものづくり業界として、見習わなくてはいけないところがたくさんあると思いました。手袋の交換回数、成形業界でも、他ではあまり行っていないプラメッキ加工を行うなど、生き残っていくためには品質や顧客からの信頼を得るほかに、自社独自の技術を磨いていくことも必要なのではないかと感じました。

**あいち産業科学技術総合センター**

■(株)タツミ化成：T.F

プラスチック概論の授業で「あいち産業科学技術総合センター」へ見学に行きました。見学の目的は、プラスチックの衝撃試験や引張試験、流動試験などを実際に体験することです。試験をする前に自分達で試験片を成形する所から始めました。試験片は角棒のような物でその試験片にノッチというV字溝を入れ、その試験片で試験を行ったのですが衝撃試験にはアイゾット

<b>株式会社 ユーシン精機</b>		<b>YUSHIN</b>
<b>本社・工場</b>	〒601-8205 京都市南区久世殿城町 555 番地 TEL : 075-933-9555 FAX : 075-934-4033	
<b>中部統括営業所</b>	〒442-0809 愛知県豊川市大橋町 2 丁目 62 番地 TEL : 0533-89-2021 FAX : 0533-89-2020	
<b>名古屋西営業所</b>	〒511-0811 三重県桑名市東方 1529-1 ハイツアザレア TEL : 0594-24-9500 FAX : 0594-24-9505	
<b>静岡営業所</b>	〒422-8035 静岡市駿河区宮竹 1 丁目 19 番 10 号 TEL : 054-238-2848 FAX : 054-238-2847	



試験片の作成について聞く

衝撃試験とシャルピー衝撃試験の2種類あり、今回はシャルピー衝撃試験をしました。シャルピー衝撃試験は振り子型のハンマーで試験片を破断し、破断に要したエネルギーからその材料の衝撃値を求め、衝撃値が大きいものほど耐衝撃性があるということです。

そして衝撃試験の次に引張試験をしました。引張試験では従来のナイロンにゴムのようにならくなる特殊なナイロンで引張試験をしました。その特殊なナイロンを作るにはL/D=100の押出機で作るそうです。

引張試験が終わり今度は流動試験を見せて頂きました。流動試験はヒーターで加熱された円筒容器内で一定量の樹脂を定められた温度で加熱、加圧して容器底部に設けられたノズルから10分間あたりに押し出された樹脂量を測定し流動性を計測するというものです。その試験をする機器のシリンダーを掃除するのもなかなか大変そうでした。すべての試験を終えて、施設を案内してもらったのですが、施設内には様々な試験をする部屋がたくさん有り、案内が無かったら絶対迷うなと思いつつ施設内を見せて頂きました。衝撃試験、引張試験、流動試験は普段みることも経験することも無かったのでとて

も勉強になり1日見学させて頂きありがとうございました。

#### ■(株)鈴木化学工業所：M.K

あいち産業科学技術総合センターへ見学に行きました。ここでは、民間企業から依頼された製品の測定や試験などを行っています。弊社でもよく活用し、お世話になっている施設です。

今回、同センターにて試験内容や試験方法について主に見学を行いました。特に、シャルピー衝撃試験・アイゾット衝撃試験が個人的にすごく面白かったです。アイゾット衝撃試験とは、吸収エネルギーを振り子の角度から求める方法で、シャルピー衝撃試験とは振り子の振れ幅からエネルギーを求めます。振り子の角度と振れ幅という両者の違いがあります。今回は振れ幅から求めるシャルピー衝撃試験を体験しました。製品を刃物付きの振り子で破壊するときの強度試験を行いました。自分の予想以上に振り子によって破壊された製品が飛んでいくので驚きました。

ほかにも、X線検査について見学を行いました。X線検査のメリットは、製品を壊さずに中の様子を見ることができることです。実際のX線画像を見させてもらいましたが、人間のレントゲン画像そのもので、すごく面白かったです。デメリットとして、一回の検査費用が高額であることがあげられます。一回の検査で何種類もの製品をX線にかけることは可能ですが、重なったりするなどで判別が難しくなるので、その際は企業に測定結果を提出して、自分自身で解析してもらおうそうです。X線検査では、製品の大きさや見たいところ、また解像度などによって測定時間は大きく変わります。早いもので15分であり、1時間近くかかる製品もあるそうです。

今回、同センターへ見学に行き、たくさんの試験方法を学びました。今、弊社での自分の仕事内容として測定を学んでいますが、製品の測定・試験ともに共通点として、測定・試験するまでのセットの時間が一番手間であり時間がか

プラスチック原料販売及着色加工

**永興物産株式会社**

本社 〒491-0828  
愛知県一宮市伝法寺一丁目9番地8

TEL 0586-77-4033  
FAX 0586-77-0814  
<http://eikoubussan.jp>



かることだと思いました。測定・試験結果はともに会社の信頼と品質を守るものであると思うので、これからも安心できる測定結果を世の中に提出していきたいです。

#### ■(株)タイセイプラス：Y.N

あいち産業科学技術総合センターでは、訓練校の実習では学べなかった新しい事をたくさん教えて頂き、とても新鮮な気持ちでした。中でも印象的だったのが衝撃試験と引っ張り強度試験です。試験片の割り方や機械の落とし方、引っ張り方や機械の動かし方、初めて見る機械で、何に使うのか分からないものまで様々で、とても興味をそそられました。

プラスチックのことだけでもこれほど大きな施設でこれほどまでに多くの機械や検査機器があるということが当たり前のようにとてもすごいことなんだな、と改めて思いました。

自分が普段なにげなく普通に仕事として扱っているプラスチックですが、見学に行く度にどんどんと全然知りもしなかった新しいことを勉強するので、より深く自分の仕事の基本的なところを学べているというような感覚がしています。今回の見学でも、また新しいことを知ることができ、仕事の「おもしろさ」がますます深まりました。

### トヨタ産業技術記念館

#### ■(株)西浦化学：T.N

今回の訓練校見学ではトヨタ産業技術記念館を見学させて頂きました。まず、入館してすぐに、繊維機械館がありました。ここでは後にトヨタ自動車を創設した豊田喜一郎の父、佐吉の発明した織機が並べられていました。1890年に佐吉が片手で簡単に操作できる人力織機ができないのかを考え、豊田式木製人力織機を完成させ、初めて特許を取得したそうです。その後も、もっと機械精度がよく、サイクルも早くて人の手を使わずに機械だけで動ける織機は作れないかと考え、1924年に世界最高性能の無停止抒換式豊田自動織機（G型）を完成させ展示してい



年代ごとによって変わっていく豊田自動織機について説明を聞きました。天井にベルトを吊りそのベルトを集団の機械に連動させ一気に運転させる事でサイクルも早くなり、人の手もかからない様な作りで糸がなくなったら自動で芯だけシューターを通じて降りてくるという機械でした。一人の従業員で100台以上の機械を見る事ができるようになったそうです。

そんな発明家の父の姿に感銘を受け、機械に興味を持ち、機械の勉強をして欧米に渡り自動車事業視察を行い、自動車部を立ち上げて国産自動車事業を興すという夢に向かって走り続けて、やがて世界のトヨタまで登りつめたのが豊田喜一郎でした。自動車館では小型エンジンの試作に挑戦した様子から車が立ち上がるまでの工程を見ることができました。喜一郎は1933年に自動車事業参入し、新工場も次々とつくり、生産管理方式においても、在庫を持たない生産管理方式ジャストインタイムの実践を試みたのもこの頃からでした。

今日の見学を通じて感じたことは、一言でいうと努力家だなと思いました。従業員達が努力して考え、失敗して勉強してまた取り組むというのを繰り返して今の自動車産業があるのだと感じました。私も今、会社の新機械の立ち上げ

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料



睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号

TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪

に取り組んでいます。かなり苦勞はしていますが、失敗を恐れずに常に考え勉強し、機械の完成を目標にすると共に、ものづくりの楽しさも学んでいこうと思います。

■株鈴木化学工業所：T.T

トヨタグループの発祥の地である、旧豊田紡織本社工場の跡地に設立された、トヨタ産業技術記念館を訪れた。記念館では繊維機械館と自動車館を順に見て回った。そこではそれぞれ織物と自動車の技術の発展と進化を見ることができた。

繊維機械館では、糸を紡ぐ技術と織る技術を見ることができ、織る技術の方にとっても興味がわいた。人力から自動織機に至るまでの技術の発展を段階的に見ることができたからである。初めに人力織機が開発され、誰が作業しても織物を織ることができるようになり、生産性・品質が向上した。そして更なる生産性向上のため、長い年月をかけて自動織機も開発された。自動織機が開発されたことで、1人の作業者が30台以上の運転を可能とした。現在でも更なる生産性向上のため、様々な織機が開発されており、今もなお技術の発展が続いていると感じた。

自動車館では、車の基本機能である「走る」、「止まる」、「曲がる」の仕組みが紹介されていた。「走る」ではエンジンやトランスミッションの変遷、「止まる」ではフットブレーキやハンドブレーキのハイテク化、「曲がる」ではステアリングと呼ばれる車の進行方向を変える装置の仕組み、他にもホイールや自動車ガラスの変遷などを、実物と映像の説明で分かりやすく紹介されていた。この館では、普段見ることの機会が少ない部品の構造と技術の発展をみることができた。トヨタ産業技術記念館での見学は、技術の発展・進化を見ることができただけでなく、現代の産業の礎となっていると感じた。

## 福井一三氏 (東海化学工業) が優勝

### プラス会 第272回例会

開催日 12月13日(水)  
 場所 京和カントリー倶楽部  
 スタート 午前9時44分 (アウト・イン)  
 参加者 20名  
 天候 晴れ時々曇り  
 気温 6.7℃  
 優勝 福井一三氏 (東海化学工業)



優勝した福井一三氏 (右)

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	東海化学工業(株)	福井 一三	51	49	100	36	64
2位	和泉化成(株)	服部 浩	45	49	94	25	69
3位	東海化学工業(株)	稲嶋 早苗	45	47	92	18	74
4位	山 宗 (株)	酒井 友樹	45	46	91	16	75
5位	(株) オプコ	尾崎 浩一	47	43	90	14	76

**TOYO**  
**Customer's Value Up**  
 ~お客様の商品価値向上をめざす~

**東洋機械金属株式会社** 電動サーボ射出成形機 / 金型  
<http://www.toyo-mm.co.jp>  
 中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市中東区社が丘1-1202  
 TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

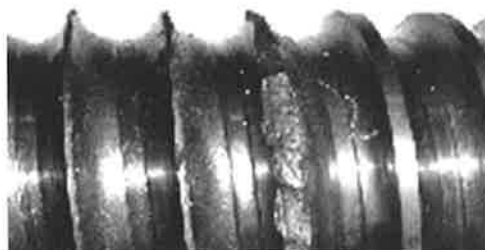
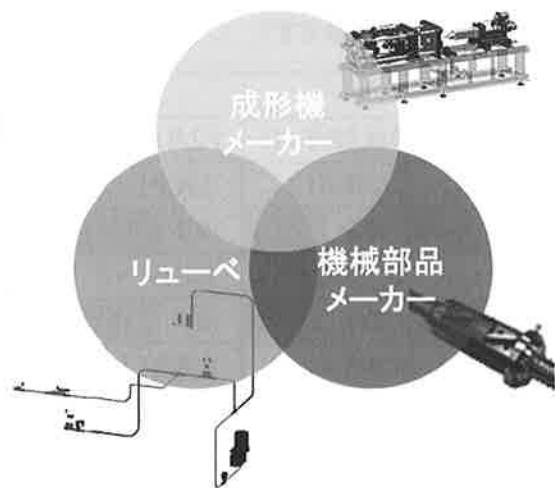
# 「共に歩む」正会員と賛助会員の交流コーナー

プラスチック中部では、正会員と賛助会員の交流を誌上で深めるため、『共に歩む』（賛助会員のコーナー）を掲載しております。今回は、リュウベ㈱の紹介です。

## 機械メーカー指定カートリッジグリースの重要性

約20年前より高精度安定成形且つ省エネ性に優れた電動駆動成形機への生産に移り、「高負荷用のボールねじ」を主とした構造により、高負荷用のグリース剤が不可欠となりました。

リュウベは成形機メーカー様、機械部品メーカー様と一緒に「集中給脂装置で送れる高負荷用カートリッジグリースを開発しました。



非純正カートリッジグリースを使用してしまった事で早期破損してしまったボールねじとブッシュ



14段or12段  
使用後の残量の削減の為、蛇腹の段数を変更  
「意匠登録済」

純正カートリッジグリース  
(リュウベ製品)



7段

非純正カートリッジグリース



**類似品のご使用にご注意下さい！**  
**機械トラブルが多発しております。**

リュウベ製と見分けのつかない「海外のコピー品」やリュウベ相当品という触れ込みによる「国内潤滑剤会社の類似品」の使用による機器の障害が問題となっております。機械メーカー指定カートリッジグリースかご確認下さい。

「成形機の部品を守り続けてユーザーの利益に貢献する」をコンセプトとし、【潤滑の重要性】【なぜ純正グリースが必要なのか】勉強共有会（潤滑セミナー）の開催を通し貢献して参ります。



<http://www.lube.co.jp>

リュウベ株式会社

リュウベ・グローバルセンター

TEL : (059)253-3980(代)

FAX : (059)253-3981

担当：岡林 達哉

# 《平成29年10～12月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 254 社

## 1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	75 社	神奈川県	20 社	中部日本	57 社	西日本	102 社
-----	------	------	------	------	------	-----	-------

## 2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	24 社	包装用容器・キャップ	32 社	電気・電子・通信部品	43 社		
自動車・輸送機器部品	91 社	住宅関連	9 社	医療機器	10 社	その他	32 社

## 3. 従業員数の内訳

20人未満	53 社	21～50人	58 社	51～100人	57 社	101～300人	43 社	301人以上	20 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

## 4. 今期(平成29年10～12月)の自社業況について(%)〈網掛けの数字は前期の結果です〉

	平成29年10～12月(実績)											
	前期(平成29年7～9月)比						前年同期(平成28年10～12月)比					
	1.増加(↑)		2.横這(↓)		3.減少(↓)		1.増加(↓)		2.横這(↑)		3.減少(→)	
①生産・売上高	35.0	31.6	48.4	50.0	16.1	17.6	40.6	43.0	38.2	36.3	19.7	19.1
②製品単価	2.0	4.3	86.6	84.8	10.6	9.4	5.5	5.9	80.3	78.9	12.6	12.5
③採算	19.7	13.3	66.5	69.5	13.0	14.8	20.5	19.1	57.5	56.3	19.7	21.9
④所定外労働時間	24.0	18.4	60.6	65.2	15.0	14.8	29.9	25.4	54.3	56.3	14.2	16.4
⑤製品在庫	22.0	15.2	61.8	66.8	15.4	16.0	24.8	19.9	59.4	63.3	13.8	13.7
⑥樹脂原料単価	44.1	24.6	51.6	69.5	3.1	4.3	51.6	32.4	42.1	59.0	4.7	5.9
⑦総合判断	20.9	15.2	61.8	68.8	15.7	14.5	24.8	25.4	51.6	53.5	20.9	19.1
⑧来期の見通し	18.5	19.1	59.1	62.9	14.6	10.2						

## 5. 当面の経営上の問題点(%)〈網掛けの数字は前回の結果です〉

1. 売上不振	2. 輸出不振	3. 製品単価安	4. 取引条件悪化	5. 過当競争	6. 輸入品との競合						
30.3	21.9	1.6	0.8	30.7	26.6	4.3	2.7	9.1	11.3	2.8	4.7
7. 流通経費増大	8. 原材料高	9. 借入負担増	10. 銀行貸し渋り	11. 人件費高	12. 採用難						
14.2	13.7	36.6	19.9	5.1	5.1	0.0	0.0	31.9	32.4	34.6	43.8
13. 技能者不足	14. 技術力不足	15. マーケティング力不足	16. 設備過剰	17. 法的規制	18. 為替問題						
31.9	29.7	17.7	18.8	10.2	9.4	0.4	0.0	2.8	3.9	3.1	3.5
19. 環境問題	20. 人材育成	21. 研究開発	22. 事業承継	23. その他							
3.9	0.4	46.1	41.8	7.1	7.4	7.1	5.5	2.4	4.7		

## 5. 当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- パート社員の採用難により工場稼働時間に苦慮しております
- プラ原材料入荷STOP材多い
- 過負荷
- 製品、仕掛品 置場不足
- 人員確保
- 人手不足、採用難
- 機械の老朽化
- 工場増設費用発生（受注拡大に依り）、手当

○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

- 測定具の多様化・高精度化により成形品が過剰品質になってきている
- コンプライアンス、BCPなど企業として吸収していかないといけない事項が多いが前向きに取り組んでいる
- 客先の品質要求が一層厳しさを増している中で受注単価安が続いており、利益確保が難しくなっている
- 「人・物・金」を小さく小さくして「カメさん経営」で生き延びております。大きくするより小さくするのは難しいです
- 人が不足している
- 日本の製造業の今後の不安
- 仕事は順調に来ているが、プラスチック原材料不足で材料メーカーの供給STOPがある。前年使用量分は供給できると言っていたが、急にできない旨を言っている材料メーカーの供給責任はどうなっているのか、現状では分からない部分が多い。工業会ではこのようなことが起

きていないか。今後の生産向上を目指して行くことができないで苦慮している状況です。良い方法があればご指導お願いいたします

- 採用難で苦戦してます
- 市場で近年関わられる会社が大変少なくなってきた
- 円安の影響なのか、輸出の動きが悪い

 **メキシコに現地法人開設** 

**KAWATA**

**成形安定化に貢献します！**

**株式会社 カワタ** [www.kawata.cc](http://www.kawata.cc)

名古屋営業所 〒461-0021 名古屋市東区大曾根1丁目2番22号  
TEL.052-918-7510 FAX.052-911-3450

KAWATA-MACHINERY MEXICO S.A. de C.V. TEL.+52-442-277-4679

**ブロー成形のスペシャリスト**

**株式会社 タイセイプラス**

試作～量産まで、スピーディに対応します。

お問い合わせ Tel 052-409-3333 Fax 052-400-0354  
e-mail [tpj@taisei-plas.co.jp](mailto:tpj@taisei-plas.co.jp)

## 各分類ごとの経営上の問題点（平成29年10～12月期）

1.数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

2.傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		自動車	日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	住宅関連	医療機器	その他
売上不振	<b>30.3</b>	23.1	45.8	28.1	39.5	33.3	40.0	31.3
輸出不振	<b>1.6</b>	1.1	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	6.3
製品・請負単価安	<b>30.7</b>	40.7	16.7	25.0	30.2	11.1	20.0	28.1
取引条件悪化	<b>4.3</b>	8.8	4.2	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1
過当競争	<b>9.1</b>	13.2	8.3	6.3	4.7	0.0	10.0	6.3
輸入品との競合	<b>2.8</b>	0.0	8.3	0.0	4.7	0.0	0.0	9.4
流通経費増大	<b>14.2</b>	17.6	8.3	9.4	9.3	11.1	30.0	15.6
原材料高	<b>36.6</b>	27.5	62.5	53.1	27.9	44.4	30.0	34.4
借入負担増	<b>5.1</b>	4.4	4.2	6.3	9.3	0.0	0.0	6.3
銀行の貸し渋り	<b>0.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費高	<b>31.9</b>	42.9	20.8	18.8	23.3	44.4	40.0	25.0
採用難	<b>34.6</b>	41.8	29.2	43.8	37.2	33.3	20.0	15.6
技能者不足	<b>31.9</b>	37.4	25.0	28.1	37.2	22.2	50.0	25.0
技術力不足	<b>17.7</b>	20.9	33.3	6.3	25.6	33.3	20.0	0.0
マーケティング力不足	<b>10.2</b>	5.5	12.5	12.5	14.0	11.1	10.0	9.4
設備過剰	<b>0.4</b>	0.0	4.2	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
法的規制	<b>2.8</b>	2.2	8.3	3.1	0.0	0.0	0.0	9.4
為替問題	<b>3.1</b>	4.4	4.2	6.3	0.0	0.0	10.0	3.1
環境問題	<b>3.9</b>	4.4	4.2	3.1	4.7	0.0	10.0	3.1
人材育成	<b>46.1</b>	51.6	58.3	53.1	39.5	33.3	50.0	37.5
研究開発	<b>7.1</b>	3.3	20.8	6.3	7.0	11.1	0.0	9.4
事業承継	<b>7.1</b>	6.6	8.3	0.0	11.6	11.1	20.0	9.4



# 各分類ごとの業況判断（平成29年10～12月期）〈前期比・前年同期比〉

1. 数字は単純平均%で表示しております

	増加 横這 減少 上昇 不変 下降 好転 横這 悪化	全 体			団 体 別					製 品 別																
		中部日本			東日本		神奈川県		西日本		自動車		雑貨類		容器包装		電気・電子		住宅関連		医療機器		その他			
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比			
生産高 売上高		35.0	40.6	38.6	35.1	33.3	40.0	20.0	30.0	37.3	46.1	34.1	36.3	29.2	33.3	43.8	50.0	37.2	41.9	44.4	55.6	40.0	40.0	25.0	37.5	
		48.4	38.2	42.1	47.4	49.3	30.7	70.0	55.0	47.1	35.3	49.5	42.9	58.3	37.5	40.6	28.1	46.5	32.6	33.3	33.3	40.0	40.0	56.3	50.0	
		16.1	19.7	17.5	15.8	17.3	26.7	10.0	15.0	15.7	17.6	15.4	18.7	12.5	29.2	15.6	21.9	16.3	25.6	22.2	11.1	10.0	20.0	18.8	9.4	
		2.0	5.5	1.8	3.5	1.3	5.3	5.0	5.0	2.0	6.9	2.2	5.5	4.2	4.2	0.0	3.1	4.7	9.3	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	3.1	
製品単価		86.6	80.3	84.2	82.5	86.7	81.3	95.0	90.0	86.3	76.5	83.5	76.9	91.7	91.7	100.0	90.6	83.7	79.1	88.9	77.8	90.0	90.0	84.4	78.1	
		10.6	12.6	14.0	14.0	10.7	10.7	0.0	5.0	10.8	14.7	14.3	16.5	4.2	4.2	0.0	6.3	11.6	11.6	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	12.5	15.6
採 算		19.7	20.5	17.5	14.0	17.3	20.0	25.0	25.0	21.6	23.5	19.8	18.7	8.3	16.7	34.4	21.9	18.6	30.2	11.1	11.1	50.0	30.0	30.0	9.4	21.9
		66.5	57.5	73.7	70.2	65.3	56.0	65.0	65.0	63.7	50.0	69.2	60.4	66.7	62.5	50.0	46.9	69.8	46.5	66.7	66.7	40.0	60.0	60.0	84.4	65.6
		13.0	19.7	8.8	14.0	17.3	21.3	10.0	10.0	12.7	23.5	11.0	19.8	25.0	20.8	15.6	31.3	11.6	23.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	9.4
		24.0	29.9	19.3	19.3	14.7	26.7	25.0	30.0	33.3	38.2	20.9	27.5	25.0	33.3	34.4	31.3	14.0	32.6	33.3	33.3	40.0	30.0	30.0	21.9	31.3
所定外 労働時間		60.6	54.3	61.4	59.6	66.7	54.7	70.0	65.0	53.9	49.0	62.6	52.7	62.5	54.2	53.1	56.3	72.1	55.8	44.4	44.4	40.0	50.0	50.0	62.5	56.3
		15.0	14.2	19.3	21.1	18.7	16.0	5.0	5.0	11.8	10.8	16.5	18.7	12.5	12.5	12.5	12.5	14.0	11.6	22.2	22.2	20.0	20.0	20.0	12.5	6.3
		22.0	24.8	10.5	15.8	24.0	26.7	20.0	20.0	27.5	29.4	19.8	24.2	33.3	16.7	25.0	31.3	11.6	18.6	44.4	44.4	55.6	40.0	50.0	9.4	9.4
製品在庫		61.8	59.4	75.4	68.4	54.7	52.0	70.0	70.0	57.8	57.8	67.0	59.3	37.5	54.2	65.6	65.6	69.8	65.1	44.4	22.2	22.2	50.0	40.0	75.0	75.0
		15.4	13.8	14.0	15.8	21.3	18.7	10.0	10.0	12.7	9.8	13.2	15.4	29.2	29.2	9.4	3.1	18.6	16.3	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	12.5	9.4
		44.1	51.6	29.8	33.3	53.3	58.7	25.0	35.0	49.0	59.8	34.1	44.0	70.8	66.7	62.5	65.6	41.9	44.2	66.7	77.8	50.0	60.0	60.0	25.0	43.8
材 料 調達単価		51.6	42.1	63.2	57.9	45.3	37.3	65.0	65.0	47.1	32.4	60.4	47.3	29.2	33.3	34.4	34.4	58.1	55.8	33.3	11.1	50.0	30.0	30.0	59.4	40.6
		3.1	4.7	7.0	8.8	1.3	1.3	0.0	0.0	2.9	5.9	5.5	7.7	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	10.0	6.3	9.4
		20.9	24.8	21.1	19.3	24.0	29.3	15.0	20.0	19.6	25.5	20.9	19.8	8.3	25.0	40.6	28.1	18.6	30.2	11.1	33.3	20.0	20.0	20.0	15.6	28.1
総合判断		61.8	51.6	68.4	66.7	53.3	44.0	75.0	65.0	61.8	46.1	64.8	60.4	66.7	37.5	40.6	40.6	65.1	48.8	77.8	55.6	70.0	60.0	60.0	75.0	56.3
		15.7	20.9	10.5	14.0	20.0	20.0	5.0	15.0	17.6	26.5	13.2	17.6	20.8	33.3	18.8	31.3	16.3	20.9	11.1	11.1	0.0	10.0	10.0	9.4	9.4
		18.5		21.1		13.3		20.0		20.6		23.1		16.7		18.8		16.3		22.2		20.0			15.6	
来期の 見通し		59.1		57.9		56.0		65.0		60.8		53.8		54.2		65.6		62.8		66.7		60.0			68.8	
		14.6		14.0		14.7		15.0		14.7		15.4		20.8		12.5		14.0		11.1		10.0			12.5	

## 支部会だより

各支部では、29年度の第1回支部会の後、それぞれに支部会を開催。その開催報告は次の通りで、30年度もより活発な活動をしていくために多くの参加を呼びかけている。



### 第1支部会（佐野屋産業 中村嘉久）

12月12日(火)「日本料理 志摩」 5名

地域的に会員数は、減少傾向にはなりますが、ここ数年第2支部の方々と共に活動しております。今後も有意義な行事ができるよう思索していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

### 第2支部会（みづほ合成工業所 後藤敏公）

12月12日(火)「日本料理 志摩」 4名

昨年5月、12月に第1支部と合同で支部会を開催しました。各社とも活発に情報交換が行われました。次回以降も第1支部と合同で開催していきますので、是非ご出席をお願いします。

### 第3支部会（大喜プラスチック工業所 井上登永）

12月6日(水)「鳥銀 喜楽」 6名

第3支部会は昨年12月6日に「鳥銀 喜楽」で6名の参加で開催しました。会員相互の情報交換、懇親を深めたいへん好評でした。参加費無料です。次回5月開催にはふるってのご参加お待ちしております。



### 第4支部会（大和電化工業所 山下大介）

9月15日(金) 北海道札幌市「経営セミナー」 5名

12月2日(土) 第8支部合同 吉良C.C.、川本 2名

先行き不透明な社会において、組合の役割は大きいと思います。特に自動車産業においては「100年に一度の変革」とも言われており、業界が一体となって乗り越えなければいけない課題です。自動車産業以外への影響も懸念されますので、この機会に支部会へ参加され情報交換の機会を得ていただきたいと思います。

 **Sumitomo**  
SHI  
**DEMAG**

 **住友重機械工業株式会社** プラスチック機械事業部

国内営業部 中部営業所

〒465-0045 愛知県名古屋市長区姫若町14-1

営業：TEL.052-702-3801 FAX.052-702-3806

サービス：TEL.052-702-3803・3802 FAX.052-702-3806

URL <http://www.shi.co.jp/plastics>

**ISONO** いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

**いその株式会社**

名古屋市東区相生町55 〒461-0012

TEL(052)931-1211(代)

FAX(052)930-1975



第5支部会（大京化学 中村公彦）  
2月7日(水)「レストラン大蔵」 6名

第5支部では一人でも多くの参加を最優先に考えております。協会を支えて頂く会員企業の皆様との出会いを心よりお待ちしております。



第6支部会（名古屋燐寸 大塚幸夫）  
12月8日(金)「料亭 蔦茂」 9名

今回はマジシャンのユッキーさんを招いて、手品で楽しく過ごしました。当支部会では毎回飲食のみならず、様々な演芸で盛り上がっています。芸人さんを紹介していただければありがたいのでよろしくお願いいたします。



第7支部会（名豊化成 福岡正喜）  
11月21日(火) 笹戸C.C 12名

昨年秋の合同支部会は「ユーシン精機」本社見学と観光、ゴルフと京都を満喫できました。11月の笹戸C.Cでの「支部会親睦ゴルフ」には12名の参加で賑やかにラウンドできました。本年も支部会行事、会員発意の親睦行事等考えておりますので、多数のご参加をお待ちしております。



第8支部会（東洋理工 横山真喜男）  
12月2日(土) 第4支部合同 吉良C.C、川本 5名

平成30年度第8支部は会員企業の工場見学からスタートします。例年の情報交換会、親睦会、ゴルフ会も勿論。参加率トップの第8支部益々活発に活動します。チャンスは待っていても来ない、取りに出よう。



**株式会社 三幸商会**

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

**Sanko Shokai Co., Ltd**

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

## ご冥福を祈ります

協会の会長職、副会長職、また組合の理事長職をそれぞれ務めた功労者らが昨秋

から今冬にかけて逝去された。

故人らの成形業界への貢献に改めて感謝すると共にお悔やみ申し上げます。

11月3日に逝去された、協会理事で元副会長神谷昭司氏（三琇プレジジョン代表取締役会長、88歳）の「お別れの会」が2月6日午後1時より名古屋市中区金山町ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋7階ザ・グランコートにおいて催され、親族、来賓、業界関係者らが多数参列した。

故人は、昭和53年に協会の理事に就任し、63年から2年間副会長を務めた。また、平成2年に藍綬褒章、13年に勲四等瑞宝章を受章した。



1月14日に逝去された、協会理事で元会長石原富祥氏（東海プラスチック工業代表取締役、85歳）の「告別式」が石原家との合同葬として1月20日正午より名古屋市千種区のいちやなぎ中央斎場において執り行われ、親族、来賓、業界関係者らが多数参列した。

故人は、昭和49年に協会の理事に就任し、平成6年から6年間会長を務めた。その後、12年から2年間上部団体の全日本プラスチック製品工業連合会の会長を務めた。また、平成10年に藍綬褒章、16年に旭日小綬章を受章した。



1月18日に逝去された、組合元理事長坂野博一氏（大洋プラスチック工業所会長、89歳）の「告別式」が1月21日午後1時より東海市の加木屋メモリーチャタソーにおいて執り行われ、親族、来賓、業界関係者らが多数参列した。

故人は、昭和49年に組合の理事に就任し、平成元年から5年間理事長を務めた。愛知県プラスチック成形厚生年金基金では設立した平成2年から9年間理事長を務めた。また、平成4年に黄綬褒章を受章した。



## 業界レポート

### [協会・組合の動向]

#### ▼理事会

11月15日（名古屋市工業研究所） 25名

(1)平成30年新年賀詞交歓会・協会創立60周年記念式典及び講演会の内容について、事務局より説明。審議の結果、全員一致で承認。

(2)事務局より、賛助会員リユーベ(株)の入会申込みについて説明。審議の結果、全員一致で承認。

(3)横山会長より、10月19日富山県で開催の中部地区業界団体懇談会について報告。  
(詳細は126号に掲載済み)

(4)立木技能検定委員長より後期技能検定申請状況、前期技能検定結果について、また検定機2台を名機製作所から日本製鋼所に入れ替えたと報告。

(5)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告等。

12月20日（名古屋国際ホテル） 34名

(1)平成30年度年間行事予定について事務局より資料に基づいて説明。審議の結果、原案通り全員一致で承認。

(2)事務局より、第13回優秀従業員表彰の実施要領、表彰規程について説明。審議の結果、全員一致で承認。

(3)事務局より、役員改選に伴い、役員候補者選考委員会の設置について説明。審議の結果、原案通り全員一致で承認。

(4)㈱プラリンクの賛助会員入会について、審議の結果、全員一致で承認。

(5)第54回永年勤続優良従業員表彰の収支につい

て事務局より説明。

(6)事務局より、11月17日刈谷市総合文化センターで開催された第67回愛知県職業能力開発促進大会について報告。

(7)中村副理事長10月25日愛知工業大学で開催された中小企業経営者と学生との交流会に出席した模様について報告。

(8)その他、委員会、連合会、青年会、事務局報告等。

〈終了後、役員年末懇親会を実施〉

#### ▼新年賀詞交歓会・協会創立60周年記念式典

1月17日（名古屋国際ホテル）

〈詳細は1～2P本文記事を参照〉

#### ▼総務委員会

12月20日（名古屋国際ホテル） 10名

(1)12月の理事会の審議案件について討議。

(2)その他。

#### ▼文化広報委員会

12月22日（名古屋市工業研究所） 6名

(1)第126号の反省と第127号（新年賀詞交歓特集号）の編集状況と第128号の企画、方針について検討。

(2)その他。

#### ▼技能検定委員会

11月30日（名古屋市工業研究所） 15名

(1)主任検定委員会議と合同で開催、後期に実施の3級実技試験、1・2号機の入れ替え、来年度の実技試験の改善点など検討。

(2)その他。

### [全日本プラスチック製品工業連合会]

#### ▼第185回理事会

1月26日（第一ホテル東京）



プラスチック用産業合理化機器メーカー

**NAKAMURA**

**中村科学工業株式会社**

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch  
〒444-0351 愛知県岡崎市北野町字高塚101 〒192-0054 東京都八王子市小門町9-37  
TEL(0564)31-2919 TEL(042)620-5466  
FAX(0564)31-9435 FAX(042)620-5461  
URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

一生涯のパートナー

**第一生命**

**第一生命保険株式会社**

ホームページ

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

(1)本日実施の新年賀詞交歓会の概要と役割分担について

(2)今後の理事会・総会日程について

(3)その他。

〈終了後新春勉強会 (IoT、ミドルウェアについて)〉

〈終了後新年賀詞交歓会 3P本文記事参照〉

#### ▼技能検定推進委員会

11月21日(東京メトロポリタン)

出席：児玉委員長、立木委員、中島

(1)各県の代表から前期技能検定実施状況、後期技能の日程について報告。

(2)その他。

#### ▼中央技能検定委員会

11月28日(中央職業能力開発協会) 児玉委員

(1)射出・圧縮成形の試験問題の作成について検討。

(2)その他。

12月13日(中央職業能力開発協会) 児玉委員

(1)随時2・3級の試験問題の作成について検討。

(2)その他。

12月26日(中央職業能力開発協会) 児玉委員

(1)射出・圧縮成形の試験問題の作成について検討。

(2)その他。

#### ▼自動車取引適正化研究会

11月22日(経済産業省) 鈴木連合会長

(1)自動車産業適正取引ガイドライン等のフォローアップについて話し合った。

(2)その他。

### 告 知 板

#### 【入会】

▽正会員 第5支部 佐藤技工(株)

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田4-34

TEL <0587> 81-7618 FAX <0587> 96-7831

代表取締役 佐藤彰高

▽賛助会員 (株)プラリンク

〒442-0809 豊川市大橋町3-108

TEL・FAX <0533> 81-8072

代表取締役 山喜政彦

▽賛助会員 ムラテック情報システム(株)

〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136

TEL <075> 672-8257 FAX <075> 672-8307

代表取締役 村田洋介

会員代表 販売部課長 木村 勉

▽賛助会員 中央電力(株)中部営業所

〒461-0004 名古屋市東区葵3-24-2

TEL <052> 325-7100 FAX <052> 325-7101

所長 岡本明浩

#### 【代表者変更】

▽正会員 第2支部 東海プラスチック工業(株)

代表取締役社長 石原武志

#### 【事務所移転】

▽正会員 (株)タイセイプラス

〈新住所〉

〒452-0051 名古屋市西区則武新町4-3-17

TEL <052> 462-9190 FAX <052> 462-9221

▽賛助会員 フドー(株)名古屋駐在 所長 竹下純一

〈新住所〉

〒509-0245 岐阜県可児市下切3248 (株)フドーテクノ内)

TEL <0574> 62-3591 FAX <0574> 62-1945

#### 【訃報】

▽正会員 第2支部 東海プラスチック工業(株)

代表取締役 石原富祥 (協会元会長) 様が  
1月14日ご逝去されました。

▽正会員 第4支部 (株)大洋プラスチック工業

所会長 坂野博一 (元組合理事長) 様が  
1月18日ご逝去されました。

謹んでお悔やみを申し上げます。

(敬称略)

成形工場の見える化/IoT化の実現!

生産管理システムのことならお任せください

**muratec ムラテック情報システム株式会社**

〒612-8307 京都市伏見区竹田向代町 136  
TEL:075-672-8257 FAX:075-672-8307  
<http://www.muratec.jp/mis/>